



平成 27 年 4 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社 フ ジ ト ミ  
 代 表 者 名 代表取締役社長 細 金 英 光  
 ( J A S D A Q ・ コード 8 7 4 0 )  
 問 合 せ 先 取締役業務本部長 新 堀 博  
 電 話 0 3 - 4 5 8 9 - 5 5 0 0

当社の親会社 株式会社 小 林 洋 行  
 代 表 者 名 代表取締役社長 細 金 成 光  
 ( 東 証 第 1 部 ・ コード 8 7 4 2 )

### 平成 27 年 3 月 期 (非連結) の業績速報

平成 27 年 3 月 期 (通期) の業績につきましては、現在集計中ではありますが、現在までの集計結果に基づく業績見込は下記のとおりであります。

なお、当社は、的確な業績予想を行うことが難しいため、業績予想を開示せず、四半期毎に業績速報を開示させて頂くこととしております。

#### 記

#### 1. 平成 27 年 3 月 期 通期 (平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日) 業績見込

(単位：百万円)

	営業収益	営 業 総利益	営業利益	経常利益	当 期 純利益	1 株 当 り 当 期 純 利 益
平成 26 年 3 月 期 (非連結) (A)	2,041	1,115	△74	△45	51	7.80 円
平成 27 年 3 月 期 (非連結) (B)	1,942	1,340	71	101	87	13.16 円
増減額 (B - A)	△98	224	146	146	35	5.36 円
増 減 率	△4.8%	20.2%	—	—	68.7%	—

#### 2. 業績概要等

当事業年度の「投資サービス事業」は国内商品先物市場の出来高合計が 2,301 万枚 (前期比 4.9%減) と低調に推移しましたが、顧客基盤の強化に努めたことで、商品先物取引受託業務の受取手数料は 1,063 百万円 (前期比 9.9%増) となりました。また、商品先物取引自己売買業務の売買損益は 78 百万円の利益 (前期は 25 百万円の損失) となりました。

「生活・環境事業」は保険募集業務の受取手数料が 90 百万円 (前期比 14.8%増) となり、不動産の賃貸料収入は 37 百万円 (同 7.9%減)、不動産販売は不動産価格の上昇により仕入環境が厳しくなっていることもあり、売上高は 402 百万円 (同 53.2%減) となりました。また、太陽光発電機・LED照明等の売上高は、太陽光発電機の取扱増加が寄与し 224 百万円 (同 310.3%増) となりました。なお、映像コンテンツ配信の売上高は 43 百万円 (同 26.7%減) となっております。

これらの結果、営業収益 1,942 百万円 (前期比 4.8%減)、営業総利益 1,340 百万円 (同 20.2%増)、営業費用 1,269 百万円 (同 6.6%増)、営業利益 71 百万円 (前期は 74 百万円の損失)、経常利益 101 百万円 (同 45 百万円の損失) となる見込みであります。また、投資有価証券売却益等の特別利益 53 百万円、商品先物取引基幹システムの変更による固定資産除却損及びデータ移行費等を含めた特別損失 48 百万円があり、当期純利益は 87 百万円 (前期比 68.7%増) となる見込みであります。

(注) 上記に記載した数値は、現在までの集計結果に基づく速報値で、会計監査人による監査前であるため、後日開示する業績とは異なる場合があります。

以 上